



「知財ビジネス提案書」を活用した事業性評価による融資の取組みについて ～当行第7号案件～

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、この度、株式会社ソイエンス（代表取締役 山下 功治）に対し、「知財ビジネス提案書※1」を活用して事業性評価を行い、融資いたしましたのでお知らせします。

当行ではこれまで15件の知財ビジネス評価書※2および提案書作成に取り組んでおります。今回、提案書を活用し、同社に対する円滑な資金調達のサポートや本業支援に役立てることができました。評価書および提案書を活用した融資は当行第7号案件となります。

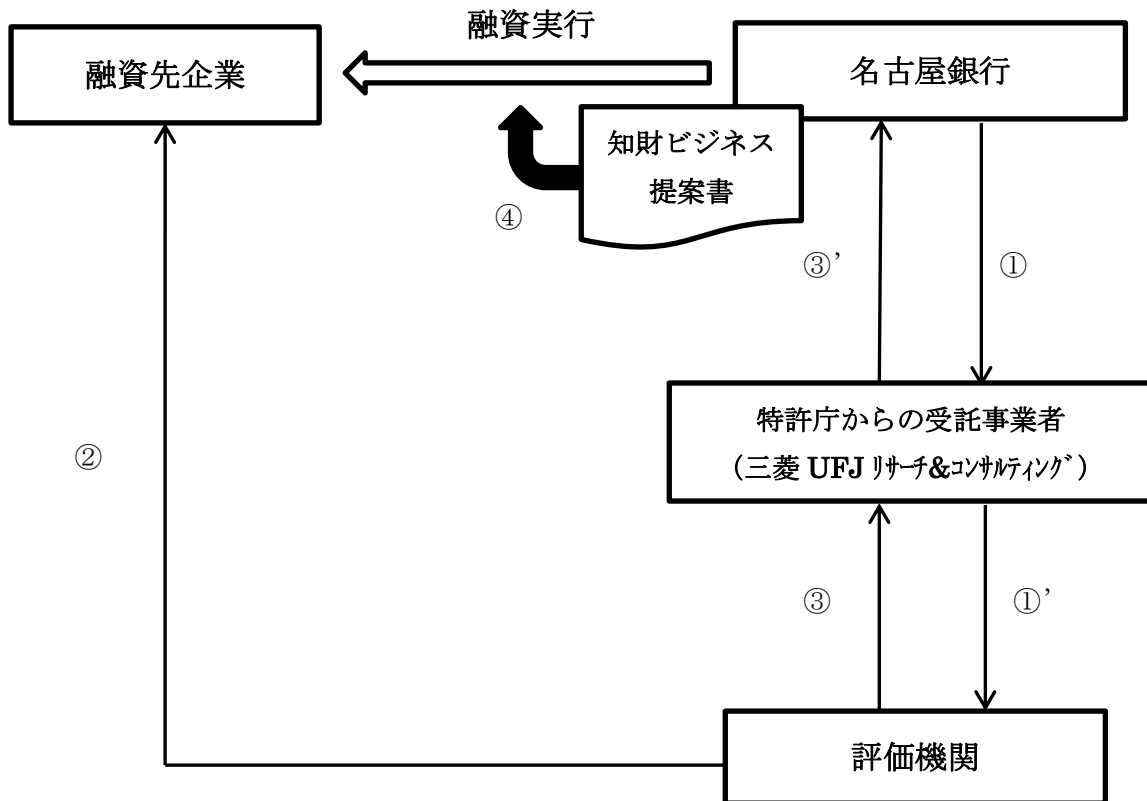
当行は、引続き地域の皆さまのニーズを捉えた情報・サービスの提供を行ってまいります。

- ※1 知財ビジネス提案書とは、第三者の専門評価機関が企業の知的財産を踏まえた経営課題に対する解決策をまとめたものです。特許庁では「知財ビジネス提案書」の普及と金融機関による本業支援を促すため、提案書作成支援事業を実施しております。
- ※2 知財ビジネス評価書とは、特許等の知的財産を切り口に、第三者機関である評価機関が企業の事業内容を評価するものです。評価書をさらに発展させたものが提案書になります。

【株式会社ソイエンスの概要】

所在地	名古屋市港区藤前4丁目913
代表者	山下 功治
設立	2007年6月
業種	鋼管杭、土木建築材料の販売
資本金	30百万円
従業員	4名
事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤補強工事・地盤改良工事に使用される回転貫入鋼管杭の販売、ライセンス、ノウハウを提供 ・鋼管杭工事の課題解決にいち早く取組み、優位性のある鋼管杭構造（杭本体と回転掘削用羽根の固定強度）の特許・意匠を取得 ・「低コスト」「施工管理」「高品質」と杭基礎施工で求められるすべてのニーズを満たす次世代鋼管杭「GAIA PILE」ガイアパイル工法等について国土交通大臣認定工法・一般社団法人日本建築センターの評定を獲得 ・「知財ビジネス提案書」は、国際的な環境志向とコスト削減ニーズが高まる中、同社の特許「鋼管杭」の構造に優位性があり、今後の事業拡大において高いポテンシャルを持っている知的財産と高く評価

〈知財ビジネス提案書を活用した融資の流れ〉



- ① 名古屋銀行は、特許庁からの受託事業者である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に「知財ビジネス提案書」の作成を依頼します。依頼を受け、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社は、特許庁指定の評価機関宛てに、調査及び「知財ビジネス提案書」作成を委託します。
- ② 評価機関は、調査対象となる企業に訪問し、事業に関するヒアリングや実地調査等を行います。
- ③ 評価機関は、②に基づいて「知財ビジネス提案書」を作成し、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社を通じて、名古屋銀行に送付します。
- ④ 名古屋銀行は、「知財ビジネス提案書」をもとに、事業の現状や見通し等を多面的に把握した上で、融資の審査をいたします。

以 上